

コード	名 称	区分	コード	名 称
事業名	118-1 文化振興一般経費(だんじり・鬼行列運営助成金)	会計	01	一般会計
		款	02	総務費
		項	01	総務管理費
		目	07	文化振興費
基本 施策	35 文化・芸術により、豊かな感性と創造性を育む	細目	128	文化振興経費
		細々目	01	文化振興一般経費
行革大綱の重点事項番号		6.7		
担当部課	コード	11300		担当者 氏名
	名称	企画総務部企画課		
		連絡先	22 - 9621 (内線) 2115	

### 事務事業の概要(Plan)

対象(誰を、何を)	上野美術保存会(だんじり9町及び鬼4町)	※対象件数	13町
成果(どうする)	上野天神祭りでだんじり・鬼行列の巡行を行うことができ、国の重要無形民俗文化財に指定されている行事を後世に伝承するための負担を軽減できる。		
根拠法令・要綱等	支所関係補助金交付要綱		
開始年度	平成	年度	関連事業
終了年度	平成	年度	
H21 事業 内容	国の重要無形民俗文化財に指定されている上野天神祭りの運営等郷土文化の振興、伝承を図るため、上野美術保存会に対して運営助成を行った。 助成金は、分配金としてだんじり9町及び鬼4町に配分されそれぞれ各自自治会で事業運営を行った。		
社会情勢 の変化等	平成20年度に助成金を930千円減額した。		

#### 整備内容(「施設の建設」「整備事業」のみ記入)

1 建設用地	
2 建設面積 (延床面積)	
3 規模・構造	
4 総事業費	千円

#### 運営体制(「施設の建設」「施設の管理・運営」のみ記入)

1 運営主体	
委託先	
2 配置人員	人
3 年間運営費	千円
4 市内の 類似施設	

### 事務事業実施にかかる業績とコスト(Do)

活動指標	指標名	単位	実績値		目標値	
			H20	H21	H22	H23
上野美術保存会定時総会	回	回	目標	1	目標	1
			実績	1	実績	1
だんじり、鬼行列の巡行	回	回	目標	1	目標	1
			実績	1	実績	1

成果指標	指標名	指標設定の考え方	単位	実績値		目標値	
				H20	H21	H22	H23
上野美術保存会(加盟町)数	町	現上野美術保存会の確保	町	目標	13	目標	13
				実績	13	実績	13
だんじり、鬼行列の巡行参加町	町	巡行に参加した町の数	町	目標	13	目標	13
				実績	13	実績	13

投入コスト	H20 決算		H21 決算		H22 当初予算		H23 当初要求	
	(千円)		(千円)		(千円)		(千円)	
直接事業費計(A)	8,370		8,370		8,370		8,370	
Aの 財源 内訳								
国庫支出金								
県支出金								
地方債								
その他	0		0		0		0	
一般財源	8,370		8,370		8,370		8,370	
事業投入人件費(B)	0.1人	720	0.1人	720	0.1人	720	0.1人	720
フルコスト(A)+(B)	9,090		9,090		9,090		9,090	

### 事務事業の評価(Check)

	判断の基準(該当項目に○をつけてください)	備考欄(特記事項)
必要性	法律(条例は除く)で実施が義務付けられている事業	
	個人の方だけでは対処し得ない社会的・経済的弱者を対象に、生活の安定を支援し、あるいは生活の安全網(セーフティネット)を整備する事業	
効果性	特定の市民や団体を対象としたサービスであるが、サービスの提供を通じて対象者以外の第三者にも利益が及ぶ事業	
	事業開始からの目標・目的を概ね達成している事業	
	市民にとっての必要性は高いが、多額の投資が必要、あるいは事業リスクや不確実性が存在するため、民間だけではその全てを負担しきれず、これを補完する事業	
	市民が社会生活を営むうえで必要な生活環境水準の確保を目的とした事業	
	国や県、民間が同様のサービスを提供している事業	
	市民の生命、財産、権利を擁護し、あるいは市民の不安を解消するために必要な規制、監視、指導、情報提供、相談等を目的とした事業	
	民間のサービスだけでは市場全体に望ましい質・量のサービスが確保できず、これを補完・先導する事業	
	受益の範囲が不特定多数の市民に及び、サービス対価の徴収ができない事業	
	事業の対象や環境の変化により、事業ニーズが薄れていない事業	
	【○をつけた場合、ニーズの具体的内容、根拠となるデータ等判断理由】	
	財政状況を考慮し、事業を休止した場合、市民生活への影響が大きい事業	
	【○をつけた場合、影響の内容及び判断理由】	
	国の高形民族文化財に指定されている、だんじり・鬼行列を後世に伝承するためには、ほやし、曳き手、曳等の人件費に加え、だんじりや曳の面、衣裳等の保存には修繕費を含む維持管理がかかるため、維持管理に努めている上野美術保存会に対し行政が支援する必要がある。	○
有効性	事務事業の継続、達成度や実績を高めることで成果指標の向上が期待できる。	○
達成度	基本施策の目的を実現するために現在の事務事業の内容は適切であり、基本施策に対して貢献度も高	○
	サービス水準や対象を見直す余地がある。	
	当初設定した計画を 100% 実施している。 【計画に遅れが生じている場合、改善策】	
	予算の繰越の有無 無	
	【予算の繰越がある場合、繰越の種別】	
効率性	他の事業主体の活用、事業移管が可能である。	
	基本施策の中で類似・重複する事務事業がある。	
	【事業名】	
	受益者負担を求められることができる事業である。	
	全体コストにおける負担構成は適正である。	○
	コストに見合った効果となっていない。効果を絞り込むことでコストを削減する余地がある。	

#### 昨年度の評価結果に基づく改善策への取り組み状況

改善策	曳き手等の人員が少子化等の影響もあり減少している。今後、本行事を後世に伝承していくための、人員確保について検討を行う。
【状況】	計画のとおり進んでいる
【詳細】	
昨年度の取組状況	上野美術保存会構成自治会それぞれの取り組みにより、曳き手等の人員確保が行われているが、引き続き、状況把握に努める。

### 今後の方向性(Action)

担当課長氏名	増田 基生
【方向性】	現状維持
【理由】	
事業の方向性	各指標実績から、事業の成果はあると考えられる。 国の無形民族文化財に指定されている上野天神祭りのだんじり・鬼行列の巡行による伝統文化の伝承と、だんじり・鬼の面等の管理のための事業として継続した事業展開を行う必要があり、現状維持としたい。
現時点における課題、その他	だんじりの曳き手等の人員が少子化等の影響から、今後も減少するおそれがある。
課題、その他に対する改善策(いつまでに、何を、どうする)	22年度以降は、上野美術保存会構成自治会の取り組みによるだんじりの曳き手等の確保と、伊賀市としてもボランティアスタッフの人員確保に努める。